

「77ストラテジック・インベストメント第2号ファンド」の増額について
～インフラ、脱炭素、まちづくり、不動産等への投資で地域のSDGsに貢献します～

株式会社七十七銀行（代表取締役頭取 小林 英文）は、七十七キャピタル株式会社（代表取締役社長 今野 晃）とともに「77ストラテジック・インベストメント第2号投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」といいます。）のファンド総額を20億円から70億円に増額しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 増額の目的

七十七キャピタル株式会社は、2016年の設立以来、「スタートアップ・ベンチャー投資」、増資等「成長投資」、事業承継・M&A等「資本再構築投資」など、企業向け投資に取り組んでおります。

2019年には、特定のプロジェクト（PJ）やアセットから生じるキャッシュフローを裏付けとしたPJファイナンスのメザニン、エクイティに投資領域を拡大するため「77ストラテジック・インベストメントファンド」（総額20億円）を、2021年には後継となる本ファンド（総額20億円）を組成して、再生可能エネルギー、医療モール、木質ビル、物流施設、ホテル等の幅広いPJ、アセットに投資を継続してまいりました。

今般、地域の再開発・まちづくりや、データセンター、系統蓄電施設、冷凍・冷蔵倉庫等のインフラ設備のファイナンスニーズが高まりを見せるなか、当行グループとして一層の取組み強化を図るため、本ファンド総額を50億円増額いたしました。

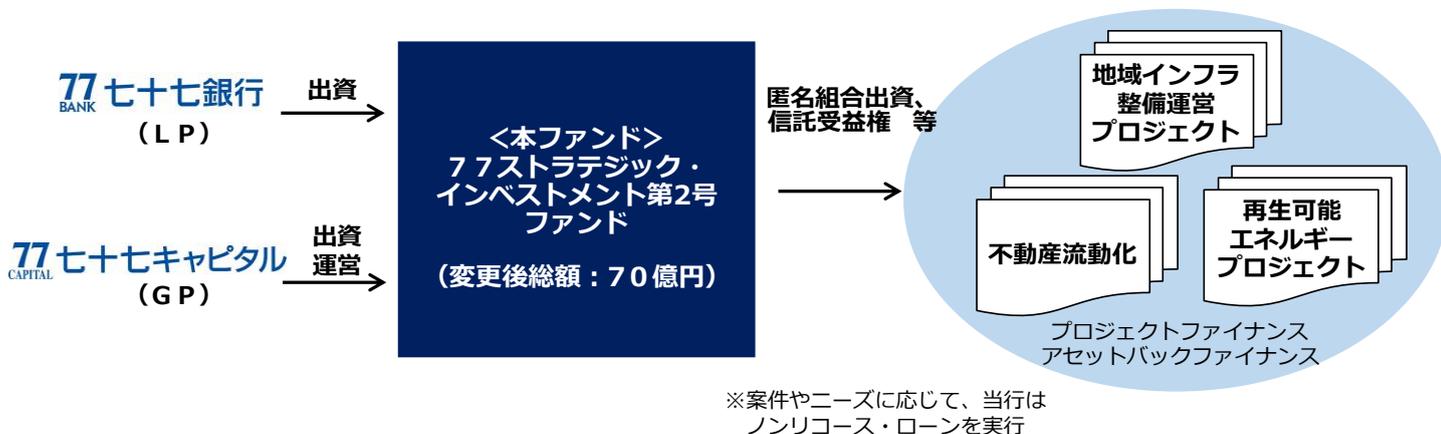
当行グループは、本ファンドを活用して地域価値の更なる向上に努め、持続可能な社会実現に向けて取り組んでまいります。

2. 本ファンドの概要

正式名称	77ストラテジック・インベストメント第2号投資事業有限責任組合
変更日	2026年3月24日
ファンド総額	70億円（20億円から50億円増額）
出資者	無限責任組合員（GP）：七十七キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社七十七銀行
主な投資対象	エネルギー、インフラ整備運営PJや不動産等アセット（資産流動化、証券化スキームを含む）を裏付けとする匿名組合出資持分等



3. スキーム図



以上

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。